



白山市立美川小学校

# 校長室だより

## 2022 Anniversary

令和4年5月号  
白山市立美川小学校  
白山市美川和波町ワ229  
TEL 278-2063

### 向き合うべきものは

校長 今井 直人



ゴールデンウィーク終盤の5月6日金曜日に出勤した職員室の私の机の上。ふたつのトレイに入っていたのを積んでみました。

美川公民館の「おかえり検定」、呉竹文庫の100周年展といった地域関連の文書から、「コロナ対応のマニュアル改訂版」(PDFで83ページの長編/文科省)、「大型連休における感染拡大の防止について」(すみません、GWもう終わりです)、「拉致問題に関する映像作品等の活用促進について」(なかなか授業でとりあげるほどの余裕もなく…/内閣府)、「ウクライナからの避難民の児童生徒等の教育機会の確保について」(こんな通知も来るのです/文科省)。こちらからの提出物では、消防署に届け出る美川小の「消防計画」27ページなど——これらほんの一部で、行政機関や民間団体からの通知や事業案内などもあわせて、高さ15cmです。

考えてみれば先生方の机の上も、日々集めたノートの丸つけをするときはこうなります。自分の仕事を愚痴にするのはみっともないことだとは心得たうえで、言いたいことはふたつ。

教師の仕事は子どもと向き合うこと。昨今問題となっている教員の働き方改革も「子どもと向き合う時間の確保」が主眼です。ノートのチェックは間接的に向き合っているとも言えますが、だったら、そのための時間をもっと確保しなければなりません(が、なかなかできません)。

もうひとつはこの紙の量。ペーパーレスを言われながら、まだまだ学校現場は紙ベースです。出席簿や出勤簿といったものも、ここにきて電子化されたシステムが導入されましたが、その対応にかえて時間が奪われる始末。以前休日の職員室で大手民間企業の知人とビデオ通話した時に「紙、多いね!」と言われたことがありますが、むべなるかな、ですね。



私たちいったい何に向き合っているのでしょうか——ふっと考えさせられます。

### Q&A 校長室からお答えします — 「年間行事計画(案)」への反対2票ありました —

Vol.80 Q 「運動会は土日祝日に」「縦割り遠足はGWに谷間以外の日に」というご意見について (育友会総会議案書の表決書の記述意見より)

A この秋の運動会は市内すべての小学校が平日午前となりそうです(一部未確定)。一言でいえば時代の流れです。練習に多くの時間を割くことによる教育課程へのしわ寄せ、熱中症対策や組体操等の安全対策など、コロナ対策が理由ではなく、コロナ禍をきっかけに、いままで変えられなかったことについても見直しが進んだものとご理解ください。

5月2日は家族旅行等で欠席の子もいたように、学校も教室での勉強をお休みにした日で、こんな日もあります。これも横並びにしたわけではありませんが、市内のほとんどの学校がこの日を遠足にあてていました。なお本校では今回のような縦割り班での活動はこの日1回きりではなく、このあとも後期にも企画される予定です。

このほか「印鑑レスの推進を」などのご意見もありました。議案書にしっかりお目を通されたゆえのご意見、ありがとうございました。育友会の議案書でのお声でしたが、学校側の行事に関わる内容でしたのでこの紙面でお答えいたしました。